

**NEWS RELEASE** (令和6年1月16日)

## 鹿児島ロケット5号機 霧島レイ号

### 打上げ実験(2者共催)と一般見学の規制等について

報道機関 各位

平素より大変お世話になっております。本学鹿児島ハイブリッドロケット研究会と肝付町が共催で実施する小型ハイブリッドロケット(鹿児島ロケット5号機 霧島レイ号)の打上げ実験と一般見学の規制について、以下のとおりお知らせいたします。つきましては是非取材・報道くださいますようお願い申し上げます。また、別紙1の通り、令和6年2月16日(金)に安全講習と機体・ペイロード公開を行いますので、併せてご案内いたします。

#### 【共催】

鹿児島大学大学院理工学研究科地域コづくりセンター所管「鹿児島ハイブリッドロケット研究会」と肝付町の共催で打上げ実験を実施します。

#### 【経緯】

鹿児島ハイブリッドロケット研究会(Team KROX)は、平成28年度から小型ロケットの開発に取り組んでいます。令和5年3月に打上げた4号機は、パラシュートの早期開傘により、期待していた軌道とは異なる飛行経路となりましたが、最重要課題としていた飛行データのリアルタイム二重バックアップに成功しました。この度、パラシュート放出機構を改良した5号機の機体が完成しました。今回も肝付町との共催で打上げが決定しましたので、打上げ実験の期間と場所等についてお知らせいたします。

また、今回の鹿児島ロケット5号機打上げ実験に対し、株式会社ユピテル様、株式会社ソフト99コーポレーション様、有限会社池山建設様、株式会社藤田ワークス様から多額のご寄附をいただきました。機体は「鹿児島ロケット5号機 霧島レイ号」と命名することといたしました。

#### 【打上げ日時と場所】

打上げ日時: 令和6年2月28日(水) 14:00~17:00

予備日 翌2月29日(木)~3月2日(土)

打上げ場所: 鹿児島県肝属郡肝付町 辺塚海岸

#### 【ロケット主要諸元】

機体 : 全長2.6m、直径140mm、質量20kg (全長、質量は微調整の可能性あり)

燃料・酸化剤 : アクリル樹脂等・液体酸素

計画到達高度: 約2.0km

---

## 【現地取材】

打上げ実験を安全に実施するため、現地に取材に来られる方は、鹿児島大学で実施する安全講習の受講を必須といたします。詳細は別紙1をご覧ください。

撮影場所は前回と同様に制限させていただきます。詳細は安全講習で説明いたしますが、打上げ前日のリハーサル時と、打上げ当日のロケット回収後は、辺塚海岸の指定場所で指定時間内での取材が可能です。

## 【一般見学の規制】

射点の辺塚海岸周辺の地形は険しく、安全に見学できる広い平地がありません。加えて、同海岸に通じる県道74号線は幅が狭く、多くの車両が乗り入れた場合、直ちに渋滞が発生し、近隣にお住まいの方々の日常の通行に支障を来たすばかりでなく、緊急車両の通行の妨げになる可能性があります。実験隊の静穏な打上げ環境も確保できなくなります。そのため、打上げ当日は早朝4:00～17:00まで、辺塚海岸に通じる県道74号線の一部区間について、一般車両、釣り客など関係者以外の立入りを制限させていただきます。通行制限の告知看板を2月初旬から県道74号線に設置する予定です。

本件の打上げ日と打上げ場所を報道していただける際は、一般の方々の見学ができない上記の事情も合わせて報道していただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 【インターネット中継】

当日は、KKB 鹿児島放送様にインターネット中継を行っていただく予定です。通信状況次第では録画放送になります。

## 【情報発信】

打上げやインターネット中継に係る情報発信は以下の通り行います。

2月22日まで 地域コトづくりセンターHP <https://kotozukuri.eng.kagoshima-u.ac.jp/top/>

2月23日以降 Team KROX 公式ツイッター <https://twitter.com/kroxteam>

打上げ前日まで 肝付町役場 HP <https://kimotsuki-town.jp/>

## 【打上げ日までの作業内容】

機体の重心位置の微調整、機体と地上とのデータ通信の確認、ペイロードの搭載、支援スタッフとの打合せ、作業手順の確認など。

## 【鹿児島ハイブリッドロケット研究会】

鹿児島大学大学院理工学研究科地域コトづくりセンター所管 鹿児島ハイブリッドロケット研究会。現在、会員43名(代表:片野田洋(理工学研究科)、副代表:高口裕芝(元第一工科大学)、企業8社、他一般会員16名、学生会員18名)。

## 【用語解説】

ハイブリッドロケット : 高分子化合物の固体燃料を液体又は気体の酸化剤で燃焼させるロケット。燃料が爆発しない安全性が最大の長所。Team KROX ではアクリル樹脂等の燃料を液体酸素で燃焼させる方式を採用。機体の構成部品は、プラスチック、酸素、ステンレス鋼、アルミニウム合金、電子部品、炭素繊維強化プラスチック(胴体)、ガラス繊維強化プラスチック(胴体)。有害物質を使っていないため、海を汚染しません。

---

---

**【問い合わせ先】**

鹿児島大学大学院 理工学研究科 地域コトづくりセンター 脇  
E-mail: kotozukur i@eng. kagoshima-u. ac. jp



肝付町 宇宙のまちづくり推進課  
宇宙のまちづくり推進係 上籠  
電話 0994-65-2511 FAX 0994-65-2587  
E-mail: space@town. kimotsuki. lg. jp

プレスリリースへのご質問に対する回答は、Team KROX のホームページ

<http://www.mech.kagoshima-u.ac.jp/~katanoda/hybridrocket.html>

に随時掲載いたします。電子メールでの回答はいたしませんので、ご了承ください。また、Team KROX 代表(片野田洋 教授)への電子メールや電話でのご質問は、打上げ準備の妨げになりますので、ご遠慮ください。

---

## 別紙1

# 報道機関向け 鹿児島ロケット5号機 霧島レイ号 打上げ実験の安全講習と機体・ペイロード公開のご案内

1. 日時 令和6年2月16日(金) 13:00受付開始, 13:30~16:30
2. 場所 鹿児島大学工学部 稲盛会館 (別紙2参照)
3. 申込方法

下記事項をご記載の上、**2月9日(金)17:00** までに5. の申込先へ電子メールで申し込んでください。件名は「安全講習の申込み」としてください。

- (1) 報道機関名
- (2) 参加者氏名(全員)

## 4. 受講要領

- (1) 打上げ実験に現地取材に来られる方が未定の場合でも、1社から2名以内安全講習にご参加ください。下記(2)の署名用紙等を配布します。現地取材に来られる報道機関は受講必須です。
- (2) 安全講習に出席されなかった方は、上記(1)の署名の提出をもって安全講習の出席者から説明を受け、内容を十分に理解した事を示す意思表示といたします。
- (3) 式次第は以下のように予定しています。  
第1部 安全講習(13:30-14:30)  
第2部 機体・ペイロード公開(14:40-16:30)
  1. 主催者挨拶
  2. プライムパートナー企業ご挨拶
  3. 機体概要説明
  4. ペイロード紹介
  5. 質疑
  6. 記念撮影
- (4) 当日受付けをいたしますが、受付名簿にご来場の目的として「安全講習の受講」、「映像・音声の記録」のいずれかに○をつけていただきます。映像・音声を記録される方は安全講習の聴講に集中できないと思われるので、同じ方が打上げ実験の取材をされる場合は受講された方から内容の説明を受けていただきます。
- (5) 安全講習の際に、打上げ実験の取材申込書と車両の乗入許可証を配布します。打上げ実験を取材される方が決まりましたら、取材申込書に直筆でご署名いただき、  
**2月21日(水)正午** までに 5. の申込先に電子ファイルで提出してください。

5. 申込先 鹿児島大学大学院 理工学研究科  
地域コトづくりセンター 事務局  
E-mail: kotozukuri@eng.kagoshima-u.ac.jp

6. 技術的な問い合わせ先  
Team KROX 事務局 佐藤哲朗  
E-mail: satou3530@comet.ocn.ne.jp

別紙 2

